

情報機器を活用した総合的な学習の時間

大寄小学校（実践者） 荻野裕子 飯島 修
（報告者） 飯島 修

1 単元名 「私たちの米作り」 （第5学年）

2 単元の目標

- 米作りの体験を通して、地域への関心を深める。
- 地域の米作りの取り組みやインターネット等の情報機器の活用を通し、米の作り方の情報収集を行い、自ら学ぶ意欲や問題解決能力を育てる。
- 調べたり活動したことを図や写真を取り入れ、わかりやすくまとめる。
- 体験や学習したことをもとに今までの自分を見つめ直し、これからの生活に生かそうとする。

3 情報機器活用の意図

本単元は、調査・体験活動を通して、自分自身で興味関心のある課題を見つけ、解決にむけ追究していくものである。これまでに、児童はスタディノートやハイパーキューブ2などで作品を作ったり、インターネットで調べ学習したり、デジタルカメラで撮影したりして情報機器に触れ親しんできている。そこで、今まで使用した情報機器を調べ学習で活用することによって、情報の収集・加工方法などに広がりができ、より課題解決が進むと考えた。

4 成果と課題

- 児童は、インターネットやコンピュータソフトなどを活用して情報を収集し、課題解決に向けてじっくり取り組んでいた。
- 現地調査や実体験の際には、記録用としてデジタルカメラを活用した。児童は、操作にも慣れ、手軽に記録したり表現する道具として使えるようになってきている。
- 現地調査や実体験に多くの児童が取り組んだ。こうした活動は、情報教育を進める上でとても意義のあることである。今後も、できる限り直接体験の活動に取り組むよう支援していきたい。
- 収集した情報を取捨選択したり加工したりして、課題解決にそってまとめることがうまくできない児童がいたので、どう支援していくか研究をしていきたい。

5 実践の概要

段階	時間数	活 動 内 容	支 援（○）と 評 価（ ）	情報機器
ふれる・つかむ	6	農政局の米作り出前授業で、米についての話を聞いたり、粳を白米にする体験をする。 ゲスト・ティーチャーから米作り等について話を聞き、田植えをする。 説明や体験、話し合いメモをもとに自分の課題を決める。	○米についてのいろいろな資料に触れたり、白米にする体験を通して、米作りに対して興味・関心を持たせる。 ○ゲスト・ティーチャーの話を聞き学習のテーマの視野を広げるようにさせる。 ○課題を決めるときには、選んだわけをしっかりと考えさせワークシートに記入させる。米作りに興味や関心を持ち、自分なりの課題を見つけることができる。	
		○米作りの工夫 ○世界の米 ○米の種類 ○米を使った料理 ○米の栄養 ○昔の米作り ○米作りが盛んな都道府県		

立てる・調べる	12	課題解決にむけて学習計画を立てる。 課題解決にむけて調べ学習を進める。 ・現地調査 ・本 ・インターネット ・インタビュー ・アンケート ・図書館などの施設 ・実体験	○学習の見通しを自分なりに考えさせ、ワークシートにまとめるようにする。 ○課題解決に向け、追究するための方法を考え、活動計画を立てることができる。 ○自分の課題にそって学習を進めるが、発表に向けどんな資料が必要でどう調べたらよいか考えさせるようにする。 ○情報機器の活用を図る。 ○ワークシートやファイルをうまく活用して、記録や資料の保管の仕方を工夫させる。 調べたいことをわかりやすく伝えるための、自分らしい追究方法を工夫し、根気強く活動できる。	デジタル植物図鑑
まとめる・広める	12	調べたことや取材したことをまとめる。 発表する。 餅つき大会をする。	○まとめ方については、「動機、方法、わかったこと、考えたこと、まとめ・反省」を入れるようにさせる。 ○自分の調べたことや思いをうまく伝えられるように発表する。 ○調べてわかったことや考えたことを、自分の表現したい方法で伝えることができる。 ○お世話になった人を招いてみんなで餅をつき、感謝の気持ちを表したい。	スタディノート
生かす	2	学習を振り返って感想をまとめる。	○これまでの活動を通して、うまくいったことやいかなかったこと、今後の活動に生かしたいこと、感想等をまとめる。	



○農政局の出前授業



○全校で田植え

○餅つき大会



○スタディノートによるまとめ

